

**平成24年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)**

平成24年2月9日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社イデアインターナショナル  
 コード番号 3140 URL <http://www.idea-in.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橋本 雅治

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長兼経営管理部 (氏名) 松原 元成

TEL 03-5446-9505

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年6月期第2四半期の連結業績(平成23年7月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
24年6月期第2四半期	2,816	8.0	77	670.9	43	—	34	—
23年6月期第2四半期	2,607	6.6	10	—	△48	—	△46	—

(注) 包括利益 24年6月期第2四半期 34百万円 (—％) 23年6月期第2四半期 △37百万円 (—％)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年6月期第2四半期	46.94	23.36
23年6月期第2四半期	△70.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
24年6月期第2四半期	2,982	152	5.1
23年6月期	2,643	117	4.5

(参考) 自己資本 24年6月期第2四半期 152百万円 23年6月期 117百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年6月期	—	0.00	—	—	—
24年6月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年6月期の連結業績予想(平成23年7月1日～平成24年6月30日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	5,417	5.8	91	286.4	48	—	28	—	40.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年6月期2Q	791,000 株	23年6月期	791,000 株
24年6月期2Q	48,563 株	23年6月期	48,563 株
24年6月期2Q	742,437 株	23年6月期2Q	669,983 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(7) 重要な後発事象	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の打撃から緩やかに回復に向かいつつあるという見方がある一方で、復興財源確保に伴う税制改正、欧州金融危機による世界経済の減速懸念や、円高の長期化等により、経済の先行きへの不安が高まっております。

当社グループはこうした環境の中、住関連ライフスタイル商品製造卸売事業におきましては、期首から取り組んでいる組織マネジメント力の向上及び新規カテゴリーの売り場提案営業の強化などにより、国内専門店への販売が上位取引先を中心に好調に推移し、前年同期を上回る結果となりました。

一方、住関連ライフスタイル商品小売事業は、デザイン性の高いトラベルグッズをセレクトした「Travel Shop Gate」の2店舗を始めとする前期に新規出店した店舗が計画を大きく上回る結果で推移したことにより、こちらも前年同期を上回る結果となりました。

以上の結果、売上高は2,816百万円(前年同期比8.0%増)、営業利益は77百万円(前年同期比670.9%増)、経常利益は43百万円(前年同四半期は48百万円の損失)、四半期純利益は34百万円(前年同四半期は46百万円の損失)となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

住関連ライフスタイル商品製造卸売事業においては、前述のとおり専門店向け販売が前年同期に比べて伸長したことにより、売上高1,596百万円(前年同期比0.6%増)、営業利益は18百万円(前年同四半期は46百万円の損失)となりました。

住関連ライフスタイル商品小売事業においては、前述のとおり新業態を中心に好調に推移したことから売上高1,219百万円(前年同期比21.1%増)、営業利益は62百万円(前年同期比6.2%増)となりました。

その他においては、売上高は0百万円(前年同期比96.5%減)となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### 1. 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末における総資産の残高は、2,982百万円(前連結会計年度末は2,643百万円)となり、338百万円増加しました。

流動資産は、2,455百万円(前連結会計年度末は2,074百万円)となり、380百万円増加しました。これは受取手形及び売掛金(純額)の増加(182百万円)、商品及び製品の増加(140百万円)等があったことによるものであります。

固定資産は、527百万円(前連結会計年度末は568百万円)となり、41百万円減少しました。これは有形固定資産の減少(30百万円)等があったことによるものであります。

流動負債は、2,096百万円(前連結会計年度末は1,794百万円)となり、301百万円増加しました。これはデリバティブ債務の減少(14百万円)等があったものの、支払手形及び買掛金の増加(240百万円)及び短期借入金の増加(69百万円)等があったことによるものであります。

固定負債は、733百万円(前連結会計年度末は731百万円)となり、2百万円増加しました。これは長期借入金の増加(5百万円)等があったことによるものであります。

純資産は、152百万円(前連結会計年度末は117百万円)となり、34百万円増加しました。これは利益剰余金の増加(34百万円)があったことによるものであります。

## 2. キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末の残高333百万円に対して17百万円増加し、351百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は22百万円(前年同四半期は260百万円)となりました。

これは、減価償却費(58百万円)及び仕入債務等の増加(240百万円)等による資金の増加があったものの、売上債権の増加(182百万円)及びたな卸資産の増加(140百万円)等の資金の減少があったことによるものであります。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は25百万円(前年同四半期は80百万円)となりました。

これは、有形固定資産取得(19百万円)等による資金の減少があったことによるものであります。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は71百万円(前年同四半期は462百万円)となりました。

これは、短期借入金の純増(76百万円)等による資金の増加があったことによるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成23年8月11日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
  
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
  
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	333	351
受取手形及び売掛金(純額)	406	589
商品及び製品	1,024	1,165
原材料及び貯蔵品	0	0
その他	309	348
流動資産合計	2,074	2,455
固定資産		
有形固定資産	249	219
無形固定資産	54	44
投資その他の資産	264	262
固定資産合計	568	527
資産合計	2,643	2,982
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	273	514
短期借入金	1,206	1,275
未払法人税等	6	5
引当金	20	25
デリバティブ債務	29	14
その他	256	260
流動負債合計	1,794	2,096
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	403	405
長期借入金	312	317
その他	15	10
固定負債合計	731	733
負債合計	2,525	2,829
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	300	300
資本剰余金	238	238
利益剰余金	△358	△323
自己株式	△62	△62
株主資本合計	117	152
純資産合計	117	152
負債純資産合計	2,643	2,982

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)
売上高	2,607	2,816
売上原価	1,381	1,468
売上総利益	1,225	1,348
返品調整引当金戻入額	6	5
返品調整引当金繰入額	8	8
差引売上総利益	1,223	1,345
販売費及び一般管理費	1,213	1,267
営業利益	10	77
営業外収益		
デリバティブ評価益	57	14
その他	0	1
営業外収益合計	57	16
営業外費用		
支払利息	15	17
為替差損	90	30
その他	10	4
営業外費用合計	116	51
経常利益又は経常損失(△)	△48	43
特別利益		
役員退職慰労引当金戻入額	51	—
その他	0	—
特別利益合計	51	—
特別損失		
固定資産除却損	25	6
減損損失	0	0
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	31	—
特別損失合計	57	6
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△54	36
法人税等	35	1
法人税等還付税額	△42	—
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△46	34
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△46	34



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△46	34
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	9	—
その他の包括利益合計	9	—
四半期包括利益	△37	34
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△37	34
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△54	36
減価償却費	53	58
減損損失	0	0
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	38	—
販売促進引当金の増減額(△は減少)	1	1
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△49	—
支払利息	15	17
為替差損益(△は益)	△2	5
売上債権の増減額(△は増加)	△260	△182
たな卸資産の増減額(△は増加)	△116	△140
仕入債務の増減額(△は減少)	177	240
その他	△86	△43
小計	△281	△6
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△14	△12
法人税等の支払額	△4	△3
法人税等の還付額	40	—
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△260</b>	<b>△22</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△53	△19
無形固定資産の取得による支出	△2	△0
敷金及び保証金の差入による支出	△21	△0
その他	△2	△5
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△80</b>	<b>△25</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	76
長期借入れによる収入	100	—
長期借入金の返済による支出	△134	△1
社債の発行による収入	400	—
株式の発行による収入	100	—
その他	△3	△3
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>462</b>	<b>71</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	△5
<b>現金及び現金同等物の増減額(△は減少)</b>	<b>124</b>	<b>17</b>
現金及び現金同等物の期首残高	322	333
<b>現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	<b>446</b>	<b>351</b>

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年7月1日 至 平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

	報告セグメント			その他 (百万円) (注)1	調整額 (百万円) (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額 (百万円) (注)3
	住関連ライフ スタイル商品 製造卸売事業 (百万円)	住関連ライフ スタイル商品 小売事業 (百万円)	計 (百万円)			
売上高						
外部顧客への売上高	1,587	1,006	2,594	12	—	2,607
セグメント間の内部売上高 または振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,587	1,006	2,594	12	—	2,607
セグメント利益または損失 (△)	△46	59	13	—	△3	10

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、オフィス・店舗空間のコンセプト・デザインを企画する空間プロデュース事業等を含んでおります。

2 セグメント損失の調整額△3百万円は、各報告セグメントに配賦不能の損益(△3百万円)であります。

3 セグメント利益または損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年7月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

	報告セグメント			その他 (百万円) (注)1	調整額 (百万円) (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額 (百万円) (注)3
	住関連ライフ スタイル商品 製造卸売事業 (百万円)	住関連ライフ スタイル商品 小売事業 (百万円)	計 (百万円)			
売上高						
外部顧客への売上高	1,596	1,219	2,816	0	—	2,816
セグメント間の内部売上高 または振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,596	1,219	2,816	0	—	2,816
セグメント利益または損失 (△)	18	62	81	—	△3	77

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、オフィス・店舗空間のコンセプト・デザインを企画する空間プロデュース事業等を含んでおります。

2 セグメント損失の調整額△3百万円は、各報告セグメントに配賦不能の損益(△3百万円)であります。

3 セグメント利益または損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。